２　番	颯田季央　議員

質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
１．　豪雨災害を踏まえた浸水対策の検証と、今後の排水機能の強化について **【質問趣旨】** 2026 年 9 月 8 日、東海地方を記録的な大雨が襲った。本市においては 1 時間当たり 99㎜の降雨を記録し、市内全域に避難指示が発令された。河川の増水、道路冠水、護岸崩壊が発生し、土砂崩れや床上浸水の被害にあわれた市民もいる。 近年、これまでの想定を超える豪雨が各地で頻発し、こうした豪雨を、数十年に一度の「想定外」として片付けることはできない環境となっている。雨の降り方が変わっているのであれば、私たちの備えも変えなければならない。 （次ページへ）	（１）これまでの排水対策の検証と現状の課題について	①　令和８年９月８日の豪雨による本市の被害状況を具体的に伺う。 ②　今回の被害に対しての対応はどのような事がなされたか伺う。 ③　本市の下水道計画では、1 時間当たり 57㎜程度の降雨を想定していたと認識しているが、現在の排水施設の能力はどれほどまで耐えられる整備が完了しているか伺う。 ④　令和 5 年度に実施した基礎調査で排水能力の不足が予測された地域について、令和 6 年度から令和 8 年度までに立てられた整備計画、各年度の予算要求額及び、当初予算額を伺う。 ⑤　排水能力の不足を把握しながら、3 年間にわたり十分な整備が進められず罹災された市民がいることについて、どのように受け止めているのか伺う。 ⑥　今後は、浸水リスクの高い地域への対策を優先し、予算措置や整備の進め方を見直す考えはあるか伺う。
	（２）次の豪雨に備えた当面の浸水対策について	①　大規模な排水施設の整備には相当な時間がかかることから、今回の罹災者や浸水リスクの高い地域の住民に、一時的な自主防災（浸水対策）のための土嚢や止水板などの購入費用を補助する制度を創設する考えがあるか伺う。

備考　１．必ず、大項目を【１、２、３・・・】、中項目を【（１）、（２）、（３）・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
２．数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
３．ＭＳ明朝体、１２ポイントで記載する。

２　番	颯田季央　議員	
質問タイトル（大項目）	**質問項目（中項目）**	**具体的質問内容（小項目）**
現在の瀬戸市下水道事業基本計画に基づく５年確率から試算した１時間当たり57 ㎜の想定での排水路整備を着実に進めるだけでなく、これまでの排水対策を検証するとともに、将来の豪雨を見据えた排水計画の見直しと、自然排水に加え、ポンプ等による強制排水も含めた抜本的な浸水対策について、本市の考えを伺う。	（３）将来の豪雨を見据えた、瀬戸市下水道事業基本計画における排水対策の抜本的な見直しと基盤整備について	②　大規模な排水施設の整備が完了するまでの暫定的な対策として、浸水が想定される地域に小型電動ポンプを設置するなど、早期に実施できる排水対策を検討する考えはあるか伺う。 ①　1 時間 100㎜ を超える豪雨も視野に入れ、流域全体の地形や水の流れ、排水先の能力を踏まえ、最終的にどのような排水システムを構築する予定か伺う。 ②　そこに至るまでの段階的な整備計画を明確にする考えはあるか伺う。 ③　浸水リスクの高い地域の排水施設整備について、必要な総事業費と整備期間を明確にし、国の交付金などを活用して事業を前倒しで進める考えはあるか伺う。 ④　自然排水だけでは対応が難しい地域において、電動ポンプによる強制排水施設の整備や、水位センサーを活用した自動排水システムの導入を検討する考えはあるか伺う。

備考　１．必ず、大項目を【１、２、３・・・】、中項目を【（１）、（２）、（３）・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
２．数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
３．ＭＳ明朝体、１２ポイントで記載する。

２　番	颯田季央　議員

質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
２.『せと未来マップ』をどう描く？ ～2040 年を見据えた子ども・若者の居場所づくりと駅周辺の都市機能について～ **【質問趣旨】** 人口減少社会を迎える中、未来を担う子ども・若者を大切にするまちづくりは、本市の持続的な発展と都市間競争を勝ち抜くための重要な政策となる。現在、本市では2040 年を見据えた次期将来計画の策定が進められている。策定中の次期将来計画を踏まえ、子どもの権利を保障する居場所づくりと、交通結節点である新瀬戸・瀬戸市駅周辺の機能を生かした具体的な取り組みについて伺う。	（１）現状確認と課題の共有について	①　瀬戸市次期将来計画における、子ども・若者政策はどのような位置づけとして策定しているのか伺う。 ②　子ども・若者政策を今後の人口戦略や都市政策とどのように結びつけ、具体的な施策として何を実施していくか伺う。 ③　個別計画である「第２次瀬戸市子ども総合計画」において、子どもの居場所について以下の内容が課題として捉えられていたが、解決への取り組みと進捗を伺う。 参考　「第２次瀬戸市子ども総合計画」から抜粋　P16.17.24 ・「公園など子どもが安心して遊べる場所がある」というアンケートに対し、「不満」と答える保護者の割合は 56.8%であった。 ・子どもたちが、身体を思いきり動かして遊べる場所の確保や安心して過ごせる居場所へのニーズも高まっている。 ・ 特に居場所については、すでに子どもの居場所となっている児童館や図書館等の既存の施設だけではなく、また、小・中学生だけではなく、若者を含め、一人一人の「居たい」、「行きたい」、「やってみたい」が実現できる居場所づくりを進めていく必要がある。 ・子ども・若者が行きたい、過ごしたいと思える場所、安心して、自分らしく過ごすことができる場所、そこにいてもいいと思える場所、居場所といえる機会を児童館等の既存の施設も活用しながら整備することで、子ども・若者が「瀬戸って良いな」「瀬戸で暮らし続けたい」と思えるように取り組みを進めていく。

備考　１．必ず、大項目を【１、２、３・・・】、中項目を【（１）、（２）、（３）・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
２．数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
３．ＭＳ明朝体、１２ポイントで記載する。

２　番	颯田季央　議員	
質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
	（２）子ども・若者会議で出された意見を政策へ反映することについて	④　2040 年を見据えた基本構想や、今後４年間の基本計画において、子どもの居場所に関する事や、それに伴う施設や土地利用について記載が少ないのはなぜか伺う。 ①　令和７年１２月の子ども・若者会議にて「騒いでも大丈夫な施設が欲しい」と居場所に関する意見が出されていたが、この意見をどのように受け止め、今後の具体的な施策に反映していく予定か伺う。 ②　本市の児童館をはじめ、地域交流センターや公民館、図書館、パルティせとの交流広場、せと“ここ”ほっとルーム、子ども食堂等は、子どもの居場所であると認識しているが、子どもたちが求める自由に過ごせる居場所となっているか伺う。 ③　東京都武蔵野市の「市立ひと・まち・情報創造館武蔵野プレイス」や兵庫県明石市の「中高生世代交流施設 AKASHI ユーススペース」は、複合施設内に中高生世代が集い、交流を図るための交流スペースや、音楽スタジオ、ダンススタジオを整備し、子どもの意見を取り入れ、子ども専用の居場所を作っているが、そのような場所の必要性について見解を伺う。 ④　本市から高校へ進学した中学生のうち、市外の高校に通っている生徒の直近３年間の人数と割合について伺う。

備考　１．必ず、大項目を【１、２、３・・・】、中項目を【（１）、（２）、（３）・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
２．数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
３．ＭＳ明朝体、１２ポイントで記載する。

２　番	颯田季央　議員	
質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
	（３）新瀬戸駅・瀬戸市駅周辺における子どもの居場所の整備方針について	⑤　通学途中に気軽に立ち寄れ、安心して過ごせる居場所が駅周辺にあることは、次期将来計画の重点パッケージの達成にもつながると考えられるが、子どもの居場所を、福祉や子育ての施策だけでなく、駅周辺の都市機能を高めるまちづくりの施策として捉えることについて見解を伺う。 ①　令和８年８月末～９月初旬に行われた、瀬戸市駅前広場の活用に向けたサウンディング調査の結果、民間事業者から「商業施設を誘致する場合は、隣接または同施設内にそこを目的としてくる施設（子育て施設や図書館等）がないと難しい。」といった意見が出されたことを受け、次期瀬戸市都市計画マスタープランに新瀬戸駅・瀬戸市駅周辺に子ども・若者の居場所を整備していく方針を加える考えはあるか伺う。 ②　現在「瀬戸市子どもの今・未来応援基金」は約 4,300 万円あり、子ども・若者会議で出された子どもたち自身の意見を反映し、子どもたちのための居場所を実現するために使用することは、基金の趣旨にも合致すると考えるが、この基金を活用し、民間と協議の上、駅周辺の民間事業者の空きスペースや店舗を利用した子ども・若者の居場所づくりの実証実験を実施することについて見解を伺う。 ③　本市へ子どもが求めるヤングアダルトと言われる世代の居場所を実際に作ることについて、市長の見解を伺う。

備考　１．必ず、大項目を【１、２、３・・・】、中項目を【（１）、（２）、（３）・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
２．数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
３．ＭＳ明朝体、１２ポイントで記載する。